

# 独で社会人生活 第一歩

大河原商高卒業 八鍬さん、渡辺さん

大河原町の大河原商高を一日卒業した八鍬睦未さん(左)と仙台市太白区  
、渡辺加奈子さん(右)が四月、ドイツに渡り、和食サービスを  
展開する日系企業に就職する。同校によると、海外の就職先を選んだ卒業生  
は異例。二人は「期待も不安もあるけど頑張りたい」と話し、異国での社会  
人生活のスタートに夢を膨らませている。

## 日系和食企業に就職

二人が入社するのは、仙台で会社説明会や面接  
デューセルドルフやフなどを実施した。流通マ  
ラックフルトですしチ ネジメント科で学んだ二  
エーンや総菜製造販売 人は、他校の生徒も受験  
を手掛ける「マルヤス」 する中、内定を勝ち取っ  
(安東明生社長、従業員 七十五人)。当面は語学  
研修を受けながら、接 客などを担当する予定  
だ。

就職のきっかけとなっ 海外に出るのが夢だっ  
たのは、社会人や大学生 来は店舗を任せてもらえ  
が講師となり、生徒に任 事や夢を語ってもらう同  
校の「スプリングセミナ ー」だった。

昨年招いた講師の一人 成してくれた。経験を積  
とマルヤスの幹部が知り たいと、自分の道を見つけて  
合という縁で、同社は ほしい」と、持ち前の  
昨夏、高卒予定者向けに チャレンジ精神で未来を

八鍬さんは「職種も良  
かったし、親も先生も賛  
成してくれた。経験を積  
み、自分の道を見つけて  
ほしい」と、持ち前の  
チャレンジ精神で未来を

## 「自分の道 見つけたい」

切り開く。

二人は四月一日、キャ



ドイツの日系企業への就  
職が決まり抱負を語る八  
鍬さん(右)と渡辺さん  
リーバッグに手荷物程度  
の軽装で、旅立つ予定。  
同校進路指導部長の菅  
原淳教諭は「仕事や語学  
を身に付けるだけでなく、  
同じユーロ圏を旅行  
するなど現地ではか  
きないことを体験し、視  
野を広げてほしい」と教  
える。二人は四月一日、

2008年3月14日(金)に大河原商業高校とハーベストが協力して  
初めてスプリングセミナーを開催。その時に講師と出会った  
ことが自分の道を見つける「きっかけ」に繋がった。

# 大学生 高校で進路指導

東北大などの学生が数十人規模で大学して高校を訪れ、高校生に大学生活の実情を語り聞かせて進路指導する新しいキャリアセミナーが県内で動き出した。自分の数年先を歩む同世代の体験談を進路選択の参考にしてもらうのが狙い。生徒は進学や就職の意味を再認識し、受験や就職に向かう意欲を高めている。

## 仙台の市民団体企画

「自分のやりたいこと 目標にしている」を見つけてるのは難しい。大学生の言葉に、高校が、いろいろ挑戦しない 生は身を乗り出して聞きとそれも見つからない」 入った。  
「人との出会いが自分の 十三日、名取市の名取 枠を広げてくれる。大学 北高であったセミナー。 時代に千人と会うことを 八大学の三十二人の学生

## 体験談を「講義」



大学生活の魅力を高校生に語る学生＝13日、名取北高

が教室に散り、二年生二 講義は五十分二コマ。 百八十人に語り掛けた。 高校生は興味がある講

## 年齢近く 親近感

義を二つ選んで受講す ら県内の中学、高校の計 八校で開いている。今回 は高校生に進学動機を明 確にしておこうと、初 験談を披露。受験勉強の コツを伝える学生もい 通じて協力を呼び掛け、 無償で引き受けてもらっ った。

生徒の橋本麻由さん 中山聖子代表(三)は 近感がわいた」と話す。 「講義を通じ、生徒は目 標を持つ大切さや興味を 持ったら実行する重要性 いろいろなこと挑戦し たいと夢を膨らませた。 名取北高進路指導部 味や働く意味を再確認す 長丹野俊行教諭は「進 路選択が本格化する時期 する。 セミナーは学校から講 師の派遣要請を受けて開 いて、生徒は刺激を得 たく、今後の課題は運営費 の面で、企業や行政に 財政支援を求める。連絡 民団体「ハーベスト」が 主催した。二〇〇七年か (721) 6180。

# 先人から生き方学ぶ

## 190市民 仙台で若者向け講座

来月13日

仙台市の企業経営者や自治体職員、NPO法人のリーダーら百五十人が講師として、個別に自身の生き方や働き方について若者に語り聞かせるイベント「せんだい、みやぎオースタムセミナー2008」が十月十三日、青葉区の東北学院大土樋キャンパスで開かれる。昨年に続き二回目で、主催者の実行委員会は「進学や就職のヒントになる話、多様な価値観や生きざまに触れ、人生の参考にしてほしい」とPRしている。

内容は起業や営業の仕事など仕事に関する事から、「どう自己実現を果すか」といった人生観まで幅広く、座学だけでなく、心理状態を絵で表現したり、環境に優しいせつけんを作ったりする体験型の講座もある。一講座六十分間、二十八教室を使って一日で百五十講座を開く。受講料は一部を除いて無料で、自由に受講できる。講師はほかに、店主

生と社会人の計三十人でつくる。市民千人が講師となる名古屋市の同種のイベントを参考に、昨年初開催し、好評を得た。

今年には講師の数を五十人増やし、講座の充実を図る。委員会は、昨年の四倍の延べ二千人の受講を目指す。委員長で会社員の中山聖子さんは「今年も素晴らしい講師陣がそろった。進路に迷う若者だけでなく、第二の人生に向き合う団塊世代の方の生き方を模索する人にも有益な時間が提供できると思う」とアピールする。

セミナーは午前十時～午後四時半。講座の内容や時間割の問い合わせ先は委員会事務局022-721-6180。

2008年10月13日（月・祝）オースタムセミナー当日の様子  
会場：東北学院大学 土樋キャンパス



企業経営者や芸術家など多彩な講師約150人を迎えて、夢や世界観などを語ってもらう「せんだい・みやぎオータムセミナー2008」が13日、仙台市青葉区の東北学院大土樋キャンパスで開かれる。

新しい自分を発見してもらう場を作ろうと、市民団体有志らの企画で、昨年続き2回目。昨年は100人の講師

## 150人「夢」講義 東北学院大

を迎えたが、今年は同大の協力などで、さらに規模を拡充した。

講師が1講座(1時間)を担当し、計約150講座が用意される。脳トレ、ゲームなどでおなじみの東北大の川島隆太教授、電気自動車実

「脳トレ」川島教授  
メーカー社員ら

験で知られる慶応大の清水浩教授らその道の専門家による講座から、起業家や大手メーカーの社員などが身近な体験などを紹介するものまで多種多様。実行委は「多彩な顔ぶれがそろった。価値観の多様性を感じてもらい、新しい自

分に気づいたり、発見したりするきっかけにしてもらいたい」としている。

講座は東北学院大の30教室を使用し午前10時5午後4時半まで行われる。参加費は無料。問い合わせは、実行委(022・721・6180)へ。スケジュールなどは実行委ホームページ(<http://www.heartheast.net/autumn2008>)へ。

**1500人のアツい声が響く、  
ココロのスイッチが入る瞬間！**

せんだい・みやぎオータム  
セミナー2008開催

1500人のあらゆる場で活躍している講師を迎えて、市民が多くを学ぶ場にしてもらおうと「せんだい・みやぎオータムセミナー2008」(中山聖子実行委員長)が10月13日、東北学院大学土樋キャンパス(青葉区)で行われた。

まず、東北大学加齢医学研究所の川島隆太教授は「脳とイマジネーション」をテーマに講演。次に、東北工業大学の沢田康次学長が「ブレインコンピュータとイマジ



沢田康次学長  
(左)と  
川島隆太教授

ネーション」をテーマに講演。「イマジネーションは想像・空想などいろいろな意味があり、世の中のストーリーを語る時に必要。コンピュータと違い、脳は外に開いているので人間には心があるといえるのです」と述べた。

受講者はそれぞれ200人を超え、セミナー全体では約2000人が来場した。